



No.11 H31.3. 1

散歩に出かけると沿道の草花を見て、少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。今年は雪が少なくて過ごしやすい冬でしたが、子どもたちは雪や氷に触れる機会がほとんどなく、雪が降ると「雪だ！」と嬉しそうに窓に顔をつけて外を眺め、目をキラキラ輝かせていました。

いよいよ3月です。1日1日を大切に、元気に楽しく充実した時間を過ごしていきたいと思います。



りすぐみ

月齢の大きい子は1・2歳児さんが踊ったり手遊びをしたりしていると、保育者のすぐ側でお兄さんお姉さんの様子を見たり真似をしたりして、手足を動かし体を揺らして一緒にリズムにのって楽しんでます。月齢の小さい子も保育者の膝に座り体を揺らしニコニコ微笑みながら声を出しています。保育者の膝に座りお気に入りの絵本を読んでもらうと、真剣なまなざしでじっと見ているりすぐみさん。繰り返し読んでもらって喜んでます。

うさぎぐみ



製作あそびが好きで、保育者が準備をしているとすぐに察知して、椅子に座って静かに待っているうさぎぐみさん。お絵かきをすると、「あか」「きいろ」と色を言いながら楽しむ子や両手にマーカーを持ってダイナミックに絵を描く子など思い思いに楽しんでます。少し前まではなぐり描きをする子がほとんどでしたが、最近では大小様々な丸を描く子もいて、日々の成長を感じられ嬉しく思います。

こぐまぐみ



ブロックや粘土あそび、お絵かきをすると、何かをイメージしながら組み立てたり描いたりする姿が多く見られるようになりました。動物をイメージしながら作る子や、できたものを何に見えるか考えて食べ物や動物などに例える子など、表現がとても豊かになってきました。「○○ちゃんと一緒にいい。」「○○くんこっちだよ。」と子ども同士誘い合っ一緒にトイレに行ったり、かけっこをして遊んだりして微笑ましく思います。



鬼はそと～！



節分にちなんで豆まきごっこをしてあそびました。

子どもたちが作った鬼のお面を頭につけて、「おにはそと～」と叫びながら豆に見立てた球を投げたり、保育者から逃げて走り回ったりして喜んでいました。

保育者が鬼のお面を顔につけると、「こわい」と言って隠れる子や保育者にしがみつく子、思いきり球を投げて立ち向かう子もいました。保育者も一緒になって「鬼はそとー！」と大きな声で言いながら球を投げ、豆まきごっこを楽しみました。

3月の活動

☆ 天候の良い日は散歩に出かけて、思いきり体を動かし、小さな春を見つけて楽しみたいと思います。

